

トパーズ収容所における最初の1年間

— 所内新聞を通してみる日系人の生活 —

林 春男

広島大学総合科学部人間行動研究講座

(1990年10月31日受理)

First one year of the Japanese Americans in the Topaz concentration camp, Utah

Haruo HAYASHI

Abstract

In this paper, the chronology of the Topaz between September 11, 1942 and September 10, 1943 was constructed by referring to "the Topaz Times", which was the community newspaper published in the camp. The changes in the birth rate and death rate were examined in terms of the changes in the lives of the Japanese Americans in the San Francisco Bay area after the dawn of WWII.

太平洋戦争の勃発を契機として、これまで長年にわたってカリフォルニア州を中心としてくすぶっていた日系人に対する排斥運動は、アメリカ全体の問題にまで拡大した。ルーズベルト大統領は1942年2月19日に大統領令9066号に署名し、米国西海岸地域に設定された軍事地域から人々を強制的に退去させる権限を戦争省長官に与えた。この命令によって、当時米国本土にいた12万人の日系人のうち11万人の人々が生活の場を追われ、内陸部に作られた強制収容所で、戦争が締結されるまでの3年間にわたる不自由な生活をおくることを強いられた。強制収容所は、原則としてミシシッピー河とシエラネバダ山脈にはさまれた不毛な砂漠地帯を中心にして、カリフォルニア州に2カ所、アリゾナ州に2カ所、ユタ州に1カ所、アイダホ州に1カ所、ワイオミング州に1カ所、コロラド州に1カ所、アーカンサス州に2カ所の、合計10カ所が作られ、各収容所にはほぼ1万人ずつの日系人を収容した。収容された日系人のうち一世が約4万人、二世が約7万人という構成だった。当時の米国では東洋人の帰化権を認められなかったため一世は敵性外国人として扱われたが、二世はアメリカ市民権を持ちながら、日本人を祖先とするということだけを根拠に国家から差別的な扱いを受けたことになる。民族性を根拠として少数民族のほぼ全員を長期間、組織的に強制収容した日系人の強制収容は、米国の歴史においても他に類例がないことである(Myer, 1971)。現在、私はこのような強制収容所での日系人たちの社会心理を当時の一次資料を使って再構成することを目的として研究を進めている。ここに報告するのは、ユタ州ミラード郡の砂漠地帯に作られたトパーズ収容所での最初の1年間の収容生活を再構成した結果である。

この収容所にはサンフランシスコ湾岸地域に住んでいた日系人約 8,500 名が収容されていた。彼らは陸軍によって、1942 年 3 月から 4 月にかけてそれまでの生活を始末する時間もほとんど与えられないような状況で、住み慣れた所から強制的に立ち退きを命じられ、タンフォラン仮収容所へ移送された。この仮収容所はサンフランシスコ南郊にあるタンフォラン競馬場を改造したもので、有刺鉄線に囲まれ要所要所に作られた監視塔には武装した兵士が配置されていた。厩舎を改造したものやフィールドに急造したバラックに住みながら、湾岸地域の日系人たちが順次集められるのを人々は待たされていた。一方、立ち退きした日系人を収容する組織として戦時転住局 (War Relocation Authority) が連邦政府の機関として発足し、10 カ所の収容所の管理運営に当たることになった。1942 年の 9 月に WRA が管理するトパーズ収容所がほぼ完成されたのをうけて、1942 年 9 月 11 日にタンフォラン仮収容所から先遣隊がトパーズ入りした。その後太平洋戦争が終結するまで、トパーズが湾岸地域の日系人の生活の場となった。

収容所内には、できるだけ通常のアメリカのコミュニティと同じになるように配慮されたという。市の憲章も制定され、市議会も存在した。住民の多くは所内で雇用されていた。病院や市民図書館、生協の売店もあり、教育施設として保育園 2、小学校 2、高校 1 をはじめ、各種成人学級が整っていた。また、この町の唯一のコミュニティ新聞である「トパーズタイムズ」が日系人自身の手で編集刊行された。この新聞はガリ版刷りで収容期間のほぼ全期間にわたって 430 号刊行されていた。本来は英語新聞だが、英語が読めない人が多い一世のために日本語欄も用意されていた。

本稿では、このトパーズタイムズの分析を通して、トパーズ収容所の最初の一年間を再構成する。具体的には、トパーズの町でおこった重大な出来事、特徴的な出来事を年表形式にまとめる。さらに、この期間にみられた誕生と死亡という“Vital Statistics”の変化を通して、当時の生活の一端をさぐる。

トパーズ収容所での最初の 1 年間

表 1 は 1942 年 9 月 11 日にトパーズ収容所に先遣隊が到着した時から、翌年 9 月 11 日までの 1 年間にわたるトパーズの年表である。トパーズでの最初の 1 年間が決して平坦なものではなかったことがこの年表から明らかになる。トパーズでの最初の 1 年間日系人社会に大きな影響を与えた問題を順にみてみよう。

まず最初の 2、3 カ月は混乱の毎日が続いている。次々に到着人々を収容する準備が整わないために多くの人々が不便な目にあっている。さらに冬に向かうに連れて、カリフォルニアの温暖な気候と違って、砂嵐、降雪、気温などと厳しい気候条件にも苦しめられている。とくに、厳しい寒さのために、ストーブの設置も追いつかず、またひどい石炭不足にも悩まされた。そのため、たとえば学校が授業を日中の暖かい時だけにするなど、通常の活動ができない状態が続いていた。

1943 年になると各種の施設も整い、日常生活が軌道にのり始めた様子が伺える。しかし、1 月 27 日から忠誠登録の問題でコミュニティはまた混乱する。太平洋戦争勃発後、陸軍は日系二世の徴兵を中断していた。しかし、日系市民協会 (JACL) の強い働きかけなどもあり、軍の上層部は日系二世だけの「日系人部隊」の編成にのりだそうとした。そのためには陸軍への徴兵登録が手続き上必要となる。そこで軍は各収容所で徴兵登録を開始した。

当時、WRA は日系人をできるだけ早く収容所から通常のコミュニティへ出所させるべきだという政策をかかげていた。出所には FBI による承認が必要であり、身元調査に長時間を要することが問題化していた。そこで WRA は陸軍の徴兵登録の様式をまねて、16 歳以上

表1 トパーズ収容所の最初の1年間 (1942/9/11~1943/9/11)

DATE	CHRONOLOGY	HEADLINE Vol. No.
42/09/11	タンフォラン収容所からの214人のボランティアがAM7:40にデルタに到着、エルンスト所長が出迎え	
42/09/12	Rev.Goto(後藤牧師)が最初のブロックマネージャーに就任 (Block 3)	
42/09/13	Rev.Gotoが第3ブロックのロックのリクリエーションホール(黨会室)で最初の説教 看護手がデルタの病院で行われた 郵便配達を開始された	
42/09/14	はじめての演奏会が開催された、出し物はドンコザック合唱団	
42/09/15	Henri TakahashiとLily Tamakiの二人によってトパーズタイムズが始められた 最初の材木泥棒が起きた	
42/09/17	タンフォランから移住の第1陣、502人到着、第5・6ブロックに全員が午後12時までに割り当てられた 露天掘りになっている大水路に落ちる人があとをたなず	GREETINGS PRE 1
42/09/18	移住第2団、482人が到着(列車のデルタ到着はAM9:26)	
42/09/19	第3陣、511人が到着、マットレスが間に合わず藁の上で寝た 初寝	
42/09/20	第4陣498人到着、3:50PMまでに部屋割り完了	
42/09/21	第5陣、505人到着	
42/09/22	520人が到着、最初の出産(Amy Takakiが女兒出産) 第2ブロックから冬仕度を開始	
42/09/23	500人がデルタに朝4時に到着	
42/09/24	516人到着	
42/09/25	近隣の農場に最初の労働団が出かけた	
42/09/26		BLOCKS 3,5,6,14 TO ELECT COUNCILMEN NEXT MONDAY PRE 2
42/09/28	525人到着 最初の砂嵐が町を襲った	
42/09/29	517人到着	
42/09/30	516人到着 513人が6時間遅れて到着、第30・37ブロックで全員の部屋割りが終わったのは夜10時、マットレスも毛布もなし	INDUCTION OF 7 COUNCILMEN SLATED FOR 7:30 TONIGHT PRE 3
42/10/01	522人到着、 砂嵐大抵の収穫のための労働団がキャッシュ部に出発した	
42/10/02		
42/10/03	527人到着 WRA長官ティロン・S・マイヤーズトレークシティーから到着	EIGHT REPRESENTATIVES TAKE COUNCIL OATH WEDNESDAY PRE 4
42/10/04	MYER VOICES HOPE THAT RESIDENTS WILL RELOCATE BEFORE ARMISTICE PRE 5	
42/10/07	生活協同組合の第1回設立総会が開かれた C.Muraki, M.Yasamoto, O.Hiroseの3名が大学進学のため収容所を離れた	
42/10/08	Rec.12に理髪店が開業された Rec.12に理髪店が開業された トパーズでははじめての死亡者が出た(Kozo Baba) 収容所の周囲の畑作り始まった(有刺鉄線の圍、居住者の労働仕事)	SANTA ANITA GROUP ARRIVES TANFORAN CONTINGENT DELAYED PRE 6
42/10/09	第1回の教育委員会が開かれた 2回目の開	
42/10/10	HOUSING FOR SCHOOLS DISCUSSED BEFORE FIRST PUBLIC HEARING PRE 7	
42/10/14	タンフォランでの賞金の最後の給料日、支払い額\$18,437.48	
42/10/15	タンフォランからの最後の一団309人到着、午後1:47 最初の映画上映会Rec.22で開催、"Daltons Ride Again"を上映	REGISTRATION SET MONDAY FOR 2000 CITY STUDENTS PRE 8
42/10/17	トパーズ病院開院、開院式典でエルンスト所長とラムゼー医師が挨拶 高校で学生の選挙受付を開始、小学校開始 医師を迎えて眼科を開院	
42/10/18		2827 RESIDENTS EMPLOYED IN CITY7 CORNWALL REVEALS PRE 9
42/10/21	Kunio Tateno夫人がトパーズで最初の男児を出産、これまでの6出産はみな女だった	
42/10/23	WCCA配給衣料がシゴバから届く	CITY CO-OP STORE TO HONOR WRA BASIC CLOTHING SCRIP PRE 10
42/10/24		
42/10/26	郵便局が新しい場所に移動 高校授業開始	
42/10/27		THE CITY:COAL SUPPLY ASSURED FOR PRESENT EMERGENCY CARLOADS ARRIVE 1 1
42/10/28		THE CITY:TOPAZ LACKS 150 MAINTENANCE WORKERS COUNCIL MEETS ON LABOR SITUATION 1 2
42/10/29	朝6:30に初雪 石炭不足がピークを迎える	THE CITY:RESIDENTS SEE SEASONS FIRST SNOWFALL 1 3
42/10/30		THE CITY:TOPAZ-DELTA TO EXCHANGE RECEPTIONS 1 4
42/10/31	トパーズでの最初の給料日、旧郵便局で配布	THE CHURCHES:NEWS SECTION PLANS MADE INTER-FAITH 1 5
42/11/02	フシントンのWRA本部からJohn C. Baker, E.M.Rowattが所内を視察 トパーズの市民憲章が起草された	
42/11/03		THE CITY:WEEK NAMED FOR FIRE PREVENTION 1 6
42/11/04		THE CITY:OUTSIDE WORK POLICIES DISCUSSED 1 7
42/11/05		THE CITY:MEETING ON FOOD SITUATION HELD 1 8
42/11/06		THE CITY:DELTA LIONS PETED BY TOPAZ COUNCIL 1 9
42/11/07		THE CHURCHES:PROTESTANTS TO HAVE FORMAL OPENING 1 10
42/11/10	消防署開設	
42/11/11		THE CITY:VOLUNTEERS AID COUNTY SCRAP DRIVE 1 11
42/11/12		THE CITY:REVEAL PLAN TO ENLIST NISEI IN ARMY 1 12
42/11/13		THE CITY:COMMISSION ADOPTS NEW STREET NAMES 1 13
42/11/14		THE CITY:HEARING HELD ON LABOR PROBLEMS "EVACUEE TRUST FUND" DISCUSSED 1 14
42/11/15	トパーズでの最初の結婚式が挙げられた (Taro KatayamaとYuki Shiosawaの結婚)	THE CHURCHES:INTER-FAITH TO ASSIST STUDENT 1 15
42/11/17		THE CITY:GOODWILL PROGRAM PLANNED FOR DELTANS APPEARANCE OF BAND SLATED 1 16
42/11/18		THE CITY:HOSPITAL ACTS TO FORM BLOOD RESERVOIR BLOOD DONORS REQUESTED 1 17
42/11/19		THE CITY:STORED GOODS REACH WAREHOUSES 1 18
42/11/20		THE CITY:ISSUANCE OF CLOTHING PLANS TO OPEN LIBRARY 1 19
42/11/21		THE CURCHES:INTER-FAITH PLANS TO OPEN LIBRARY 1 20
42/11/24		THE CITY:DELTA BAND WILL PLAY HERE TODAY 1 21
42/11/25		THE CITY:FIRST STEP TAKEN IN SELF GOVERNMENT TO BE PRESENTED TO COUNCIL FOR APPROVAL 1 22
42/11/26	種密通間にちなんで、各ブロックに運木を運べた THE CITY:ARMY OPENING RECRUITING CENTER HERE LANGUAGE SCHOOL OFFICERS ARRIVE	1 23
42/11/27	感謝祭の食卓には、食卓で七面鳥が供された	THE CITY:LOCAL TALENTS PERFORM BEFORE DELTANS ATTRACT MANY IN TWO SHOWS 1 24
42/12/01		THE CITY:COUNCILMEN TO FORM LABOR BOARDS GROUPS TO SET MERIT RATINGS SETTLE DISPUTES 1 26
42/12/02	図書館がRec.16に開設された	CONSTITUTION RATIFIED BY COUNCILMEN 1 27
42/12/03	米国防軍語学学校のRoy Hirano軍曹がキャンプサベージへの候補者の面接を開始	RECRUITING PARTY OPENS LOCAL OFFICE 1 28
42/12/04		WORK AGENCIES TO ASSIST WRA IN RELOCATION 1 29
42/12/05		HISTORICAL OF UTAH --- INTRODUCTION 1 30
42/12/07		AN EVACUEES --- EDITORIAL WE ARE DOING OUR PART 1 31
42/12/08		VOLUNTEERS LEAVE CITY FOR U.S. ARMY 1 32
42/12/09	生地、既成服、小間物を扱う洋品店がRec.12に開店、当日の売上は\$2,700.	CO-OP STORE OPENS TODAY 1 33
42/12/10		PREPARE CONSTITUTION FOR VOTE 1 34
42/12/11		PLAN REBATE FOR CO-OP MEMBERS 1 35
42/12/12		WRA SEEKS TO RESETTLE EVACUEES 1 36
42/12/14		ADVISE RENEWAL OF STATE LICENSES 1 37
42/12/15		CONSTITUTION VOTE SET FOR TODAY 1 38
42/12/16		RESIDENTS MEET TO ORGANIZE XMAS PROGRAM 1 39
42/12/17	トパーズ憲章が承認された	CONSTITUTION RATIFICATION REACHES 2591 1 40
42/12/19		HISTORY OF UTAH PART 1 1 42
42/12/21		WRA ISSUES STATEMENT ON CIVIL SERVICE 1 43
42/12/22		HUNDREDS SEARCH FOR MISSING NISEI 1 44
42/12/23		FUKAGAKI STILL MISSING 1 45
42/12/24	3日間行方不明だったKozo Fukagaiが町の西方10マイルの所で無事発見された	MISSING RESIDENT FOUND ALIVE HORSEMEN FIND FUKAGAI 10 MI. FROM MT. TOPAZ MESSAGE 1 46
	スケートリンクが完成	

42/12/25	七面鳥の晩餐付きのホワイトクリスマスとなった		
42/12/28		ELECTION FOR COUNCILMEN TOMORROW	1 47
42/12/29	トバーズでのジルバコンテストでYoshi InouyeとMay Muraiが優勝	HOLD ELECTION TODAY FOR COUNCILMEN	1 48
42/12/30		ELECTION RETURNS REVEALED	1 49
42/12/31	新年を迎えるダンスパーティーが第1ブロックの食堂で開かれた 週4時間制を再開した	NEW YEAR DANCES SET FOR TONIGHT	1 50
43/01/01		MESSAGE	2 1
43/01/04	食堂では餅がふるまわれた	PRIVATELY STORED GOODS NOW AVAILABLE	2 2
43/01/05		EMPLOYMENT OFFERED TO ALL RESIDENTS	2 3
43/01/06		REQUIRE FEES FOR LICENSE RENEWAL	2 4
43/01/07		CAS LISTS RULES FOR OUTINGS	2 5
43/01/08		STUDENT CLUB TO HOLD RALLY TOMORROW NIGHT	2 6
43/01/09		RECORD OF TEMPORARY CITY COUNCIL	2 7
43/01/11		1943 COUNCIL HOLD FIRST MEETING	2 8
43/01/12		DISMANTLE CCC BUILDINGS FOR WRA LISE	2 9
43/01/13	GOV. MAW ARRIVES TOMORROW	EXECUTIVE TO SWEAR NEW COUNCILMENT INTO OFFICE	2 10
43/01/14	GOV. MAW INDUCTS COUNCILMEN	TOPAZANS HOLD BANQUET IN HONOR OF EXECUTIVE	2 11
43/01/15	ユタ州知事Herbert B. Mawが来賓としてトバーズを訪れた	GOVERNOR MAW INDUCTS NEW COUNCILMEN	2 12
43/01/16	JACLの書記局長Mike Masaokaがトバーズを訪れ、会員と会談した	CHURCH AID ASKED FOR RESETTLEMENT	2 13
43/01/18		JACL LEADER SPEAKS ON RESETTLEMENT	2 14
43/01/19		GOVERNOR MAW IMPRESSED BY PROGRESS HERE	2 15
43/01/20		GLASSES AVAILABLE AT LOW COST	2 16
43/01/21		COUNCIL TO INVESTIGATE MEDICAL STAFF SHORTAGE	2 17
43/01/22	16歳から66歳の男子を対象とした徴兵登録が市役所で開始された 美容院開設	DRAFT REGISTRATION FOR NISEI YOUTH, 18-19, BEGINS	2 18
43/01/23		MYER GIVES ADVICE ON RESETTLEMENT	2 19
43/01/25		SUGAR MAGNATE REVEALS FARMING OPPORTUNITIES	2 20
43/01/26		57 YOUNG NISEI REGISTER AT DRAFT BORD NO.30	2 21
43/01/27		ERNST DEPARTS TO CONFER WITH NATL WRA OFFICIALS	2 22
43/01/28		MEN NEEDED FOR FARM, PUBLIC WORKS DIVISIONS	2 23
43/01/29		LOCAL THEATRICAL TROUPE TO PERFORM AT OAK CITY	2 24
43/01/30	TO RECRUIT NISEI WRA DEPARTMENT PLANS TO ORGANIZE AMERICAN COMBAT TEAM	READY MARKET AWAITS EVACUEE AUTOMOBILES	2 EXT.
43/02/01		LOST...	2 26
43/02/02		WRA PROGRAM AFFECTED BY NEW ARMY POLICY -- ERNST	2 27
43/02/03		FOUND...	2 28
43/02/04	ARMY RECRUITING TEAM COMING COMBAT UNIT VOLUNTEERING, WRA REGISTRATION SET FOR CITY RESIDENTS		2 29
43/02/05	ARMY COMMISSION DUE TODAY RECRUITING TEAM TO CONFER WITH ERNST ON REGISTRATION DETAILS		2 30
43/02/06		45 INDEFINITE LEAVES ISSUED IN JANUARY	2 31
43/02/08		PRESIDENT ENDORSES COMBAT TEAM PLANS	2 32
43/02/09	二世戦闘部隊の編成に関する戦争省の政策をウィリアム・L・トレシー軍曹が説明した	MECHANICS OF TOPAZ REGISTRATION GIVEN	2 33
43/02/10		ERNST STATES OBJECT OF WRA REGISTRATION	2 SPE.
43/02/11		SAMPLE QUERIES IN REGISTRATION GIVEN	2 34
43/02/12	火曜日と金曜日は肉抜き日と決まる	FIRST BLOCKS AGREE TO REGISTER ON SATURDAY	2 35
43/02/13		MASS REGISTRATION SHCHEDULE PREPARED	2 36
43/02/15	陸軍への登録が第8ブロックで開始された	WRA FIELD OFFICES FOR EMPLOYMENT ORGANIZED	2 37
43/02/16		REGISTRATION PROCEEDS	2 38
43/02/17		RESIDENTS NOT WRA DEPT. HOLD ANSWER, SAY MYER	2 39
43/02/18		WORK ON HIGH SHCHOOL AUDITORIUM TO BEGIN	2 40
43/02/19	WAR DEPT. ANSWERS RESOLUTION	NON-CITIZENS MAY BE ABLE TO ENLIST	2 41
43/02/20		COMMITTEE OF 33 PREPARES STATEMENT	2 42
43/02/22		SPECIFICATIONS FOR HIGH SCHOOL GIVEN	2 43
43/02/23	イギリスの前労働大臣マARGレット・ポンドフィールドが来訪	REGISTRATION HITS TWO-THIRDS MARK	2 44
43/02/24		83% OF RESIDENTS OVER 17 YRS. NOW REGISTERED	2 46
43/02/25	陸軍への登録完了、登録総数6,100	ACHEDULED REGISTRATION PERIOD CONCLUDED TODAY	2 47
43/03/01		WAAC MAY BE OPENED TO CITIZEN WOMEN	2 50
43/03/02	WAACのMARGレット・ディーン軍曹が来訪し、陸軍で秘書として働く女性の面接に当たる		
43/03/03		ARMY REGISTRATION ENDS SUCCESSFULLY	2 52
43/03/04		SOLDIERS MAY VISIT COASTAL PROJECTS	2 53
43/03/05	日本への出国を希望した66人の住民がアーカンサス州ローアー収容所に転送される	WORK OFFERED FOR 15 FAMILIES	2 54
43/03/06		NEED FIFTY NURSES' AIDES IMMEDIATELY	2 55
43/03/08		CALL FOR VOLUNTEERS	2 56
43/03/10		LAST DAY FOR VOLUNTEERING	2 57
43/03/11		97 VOLUNTEER FOR ARMY COMBAT TEAM	2 58
43/03/12	John, Joe, PaulのYoshino3兄弟が陸軍に志願した	ENLISTEES FORM BODY TO FIGHT FOR CIVIL RIGHTS	2 59
43/03/13		WELCOME HAWAIIANS!!	2 60
43/03/14	ハワイから立ち退かされたが到着した		
43/03/15		NEWCOMERS WELCOMED HAWAIIANS SETTLED IN BLOCKI	2 61
43/03/16	靴の配給制が始まる	RESIDENTS NEED CERTIFICATES TO PURCHASE SHOES	2 62
43/03/17		DILLON MYER COMMENTS ON INCREASE OF VOLUNTEERS	2 63
43/03/18		1000 VOLUNTEER, ARMY ANNOUNCES	2 64
43/03/19		ADVENTISTS TO MEET	2 65
43/03/20		2,571 LEAVE CENTERS, 461 FROM TOPAZ	2 66
43/03/22	陸軍への志願者の数は109名に達する、最終的には119名になった	500 ATTEND FIRST TOPAZ YBA MEET	2 67
43/03/23		ADVISORY BOARD TO AID CITY SERVICES	2 68
43/03/24		DARMERS TO BE AIDED BY WRA OFFICES	2 69
43/03/25		FAMILIES WANTED FOR ODEN WORK	2 70
43/03/26		TROUT FLIES DONATED TO U.S. ARMY	2 71
43/03/27		WASHINGTON ASKS FOR OFFICE GIRLS	2 72
43/03/30		EXAMINATION FOR VOLUNTEERS TODAY	3 1
43/04/01		59 TOPAZ VOLUNTEERS PASS INITIAL TESTS	3 2
43/04/03		3 PLEAD GUILTY TO ILLEGAL USE OF CAR	3 3
43/04/06		YOUTH HAS NARROW ESCAPE FROM DEATH	3 4
43/04/08		VOLUNTEERS IN 6 CENTERS RESPOND	3 5
43/04/10		FOOD PIPERING CHARGES UNFOUND	3 6
43/04/11	James H. Wakasa老人がパトロール中の歩哨によって射殺された		
43/04/12		RESIDENTS KILLED	3 EXT.
43/04/13		M.P. SENTRY ARRESTED TO BE COURT-MARTIALED	3 7
43/04/15		PUBLIC RITES SLATED FOR JAMES H. WAKASA	3 8
43/04/16		WRA GIVES ASSURANCES	3 EXT.
43/04/17		COMMITTEE OF 15 ASKES NO STOPAGE OF WORK	3 9
43/04/18	西部防衛本部司令長官デューウィット將軍は二世兵士の西海岸訪問を許可		
43/04/19	Wakasa氏の市葬がとりおこなわれた		
43/04/20		RESETTLEMENT PROGRAM PROGRESSING FAVORABLY	3 10
43/04/21		DAY GUARDS ABOLISHED	3 EXT.
43/04/21	歩哨による日中の警備が廃止となる		
43/04/22		PROJECT CATTLE USED TO MEET BEEF SHORTAGE	3 11
43/04/24		RUSH WORK ON OUTER ROAD FOR M.P. BEGINS	3 12
43/04/27	砂嵐のなか復活祭が祝われる、早期のミサが第32ブロックで行われた		
43/04/29		ERNST OBSERVES GOOD PROGRESS IN RELOCATION	3 13
43/05/01		SAVAGE RECRUITING TEAM TO ARRIVE HER MAY 10	3 14
43/05/01		REPORT MADE ON CONFISCATED GOODS	3 15
43/05/06		COMMUNITY EDUCATION CONFERENCE PLANNED	3 17
43/05/08		SUNDAY PROGRAM SET FOR MOTHERS	3 18
43/05/11		EDUCATION ADVISORY COUNCIL VISITS CITY	3 19
43/05/13		CIVIL SERVICE OPENED JAPANESE AMERICAN	3 20
43/05/15		CHICAGO WRA OFFICE WILL TALK SECRETARIES, STENOS	3 21

	ハワイの貝殻細工展がRec.40え開かれ、たくさんの人が集まる		
43/05/18		NYA SCHOOL OPENS COURSES, OVER 100 STUDENTS ENROLLED	3 22
43/05/20		DES MOINES YMCA WILL AID RELOCATORS TO FIND JOBS	3 23
43/05/22		SECOND COMBAT TEAM GROUP LEAVES TOPAZ	3 24
43/05/25		RELOCATION FORUM FOR RESETTLERS SCHEDULED	3 25
43/05/27		TOPAZ LABOR SHORTAGE DISCUSSED IN MEETING	3 26
43/05/29		FAMILY STYLE SERVICE TO BE INAUGURATED IN DINING HALLS	3 27
	食堂での食事が家族単位でテーブルにつくように改められる		
43/05/31	トパズのNYA学校が突如閉鎖された、その時点で4つのクラスに110人が申し込んでいた		
43/06/01		RULING BANS NYA COURSES FOR JAPANESE AMERICANS	3 28
43/06/03		RESIDENTS WILL VOTE ON CONSTITUTION AMENDMENTS	3 29
43/06/05		CIVIC SETTLEMENT GROUP NAMED TO UPLIFT MORALE	3 30
43/06/08		LIQUIDATION OF CANADA PROPERTY TO START SOON	3 31
43/06/09	テキサス州クリスタルシティにある敵性外国人収容所の夫と合流するため、妻7人とその子供たちが出所		
43/06/10		BOTH AMENDMENTS APPROVED SEGREGATION NOT SOON, ERNST SAYS ON RETURN	3 32
43/06/12		COUNCIL ELECTION SLATED, NOMINATION MEETINGS HELD	3 33
43/06/14		CANDIDATES NAMED	3 SPE.
43/06/15		SEGREGATION TO START SEPT. 1, DECLARES MYER	3 34
43/06/17		CENTER-WIDE ELECTION FOR COUNCILMEN SET FOR TODAY	3 35
43/06/19		ELECTION RESULTS GIVEN	3 35
43/06/22		ERNST REVEALS FULL DATA ON TSUCHIDA CASE	3 36
43/06/24		ALL DIVISIONS TO AID FARM PLANTING, 10-DAY PROGRAM	3 37
43/06/25	高校の卒業式で、196名が卒業証書を授与された		
43/06/26		SUCCESSFUL FARM PROGRAM AIDED BY VOLUNTEER HELP	3 38
43/06/29		FIRST TOPAZ HIGH SCHOOL COMMENCEMENT RITES HELD	3 39
43/06/29		ROSCOS BELL REASSIGNED AS ASSISTANT DIRECTOR	3 40
43/07/02		INDUCTION OF COUNCILMEN SCHEDULED FOR TOMORROW	4 1
43/07/04	Takeo Akagiが8つの電灯修理のために150フィートある病院の煙突に登った		
43/07/06	独立記念日を盛大に祝った		
43/07/07	マイヤー長官が日本への出国を希望する6,300名の収容者だけ一カ所に集め隔離収容室を公表		
43/07/08		GALA JULY 4TH CARNIVAL REPORTED HUGE SUCCESS	4 2
43/07/10		700 EMPLOYEES TO BE CUT WITHIN NEXT THREE MONTHS	4 3
43/07/10		LABOR DESREASE POLICY...AFFECTS MANY DIVISIONS	4 4
43/07/13		MILLARD COUNTY JAIL BREAK FOILED BY FORMER RESIDENTS	4 5
43/07/14		SEGREGATION TO START SEPT. 1, DECLARES MYER	4 EXT.
43/07/15		DIRECTORS PLAN MEETING TO DISCUSS SEGREGATION	4 6
43/07/17		CASH GRANTS --- FUNDS RELEASED TO RELOCATORS	4 7
43/07/19	日本語による成人学級が開始される		
43/07/20		OGDEN CAMP CONDITIONS IMPROVE AFTER SURVEYS	4 8-A
43/07/22		AG WORKERS NEEDED	4 8-B
43/07/23	WACへの二世女性の加入が認められるようになった		
43/07/24		NEW OFFICE ESTABLISHED HERE FOR SEGREGATES	4 9
43/07/27	50名のスタッフが農業事業を助けるために所外で働き始めた		
43/07/27		WAR DEPARTMENT OPENS WACS TO NISEI WOMEN	4 10
43/07/29	華氏105度(40.5°C)まで気温が上昇した		
43/07/31		FAMILIES MAY ACCOMPANY SEGREGATES TO CENTER	4 11
43/08/03		MYER EXPLAINS REASONS FOR SEGREGATION PLANS	4 12
43/08/05		450 SEGREGATES TO GO SEPT. 13, STATES ERNST	4 13
43/08/07		RELOCATION SPEEDED UP FOR TRANSFER EMERGENCY	4 14
43/08/10		TRANSFEREES TO RECEIVE BOXES TO PACK ARTICLES	4 15
43/08/12		HUGHES CLARIFIES FOOD CROP ASSIGNMENT PROGRAM	4 16
43/08/13	夏期の卒業講座を終了した30名が卒業証書を手にした		
43/08/14		RELOCATION POLICY AFTER SEGREGATION ANNOUNCED	4 17
43/08/15	陸軍は収容所から予備隊兵を復活させた		
43/08/17	益廣りに200名以上の参加者があった		
43/08/19		ARMY CALLS PVT. SHIMADA BACK TO ACTIVE DUTY	4 19
43/08/21		PAROLEE STATUS CLEARED TO SUPPRESS RUMORS	4 20
43/08/21		MOVING ORDER BEING PLANNED	4 21
43/08/24		NO IMMEDIATE DISSOLUTION OF RELOCATION CENTERS	4 22
43/08/26	日本とアメリカの捕虜交換船となるスウェーデンの汽船に乗船するため、22名が出発した		
43/08/28	水不足に悩まされる		
43/08/31		DEPARTURE ORDER SET FOR TULE LAKE BOUND	4 23
43/09/02	トパズでも日本への帰国希望者の隔離が公表された		
43/09/02		TRANSFEREES---INFORMATION BOARD CREATED	4 24
43/09/04		5 INFORMATION TEAMS TO ASSIST TRANSFEREES	4 25
43/09/07		TRANSFER MOVEMENT DELAYED TO SEPT. 19	4 26
43/09/09	帰国希望者の分離の開始が9月19日に延期された、隔離収容所に移送される人は1466名に及んだ		
43/09/11	日本へ電報を打つ際の規則が制定された、1885通が打電された		
43/09/11		RESIDENTS MAY SEND MESSAGES ON GRIPSHOLM	4 27
43/09/11	WAC総会に100名が出席した		
43/09/11	トパズは1周年を迎えた		
43/09/11		ERNST'S REPRESENTATIVES FOR TULE TRIP CHOSEN	4 28
43/09/11		WAC UNIT DUE THURSDAY; ERNST CALLS ASSEMBLY	4 29
43/09/11		WAC RECRUITERS ARRIVE FOR ENLISTMENT PROGRAM	4 30
43/09/11		ANNIVERSARY MESSAGE	4 31

の全住民にアメリカ政府への忠誠心を調べる質問紙調査を企画した。ところが、ワーディングのミスから、一世が帰化権を持たないのに日本国籍を捨て、無国籍者になることを望むような回答を求める事態がおきた。これを契機にして、アメリカ政府への忠誠を拒むものが全体の1割近く出てきてしまった。

その後、WRAはアメリカ政府への忠誠を拒んだ者を、忠誠を誓った者から分離し、彼らだけを隔離して1カ所にまとめる計画を発表した。そのため住民の配置替えや、在留者交換船で日本へ帰る人などがでた。最終的にはカリフォルニア州にあるツールレーク収容所が忠誠を拒んだ者たちのための隔離収容所となり、各収容所からいわゆる「不忠誠者」が移送され、ツールレークの忠誠組が各収容所に移されることに決まった。

最初の1年間の誕生と死亡

冠婚葬祭という言葉があるように、誕生と死亡は人生における重大事件である。また、「団塊の世代」という言い方がされるように、第2時世界大戦後には空前のベビーブームが生まれた。現在はその子供たちが大学進学の時節にあたり、第2次ベビーブームとよばれている。

逆に、「丙馬の年」には出生数が顕著に減ることもよく知られている。これらの現象はカップルごとの独立事象と考えられる出産すら、その背景に大きな社会的影響が存在していることを示唆している。似たような傾向は死亡についても認められる。たとえばデュルケムが指摘したようにアノミーな状態、つまり社会的に無気力な状態の方が自殺が多いというようなことがその一例である（1951）。本稿では、1942年9月から翌年9月までの一年間にトパーズ収容所内でみられた出産と死亡に着目し、そこに個々のカップルや個人の状況を超えたいかなる社会的影響が見いだせるかを検討する。

もし社会的影響があるとすれば、出産の場合には通常受胎から分娩までが40周280日とされるので、1941年12月末ごろから1942年の12月ごろまでの事柄が関係してくることになる。この間はちょうど、真珠湾攻撃の時期から、タンフォランへの移送、トパーズへの移住の時期と重なっている。

トパーズタイムズの英語欄には、消息欄（Information）に“Statistics”, “Vital Statistics”, あるいは“Birth and Death”というセクション名で、不定期ながら住民の誕生と死亡を知らせる欄が存在した。そこに報告されている出産をみると、1942年9月11日から翌年9月10日までに間に、トパーズでは112名が誕生した。内訳は男児64名、女児47名、記載なし1名である。また死亡者総数は34名であり、そのうち男性が25名、女性は9名である。個別の事例は表2、表3にまとめた通りである。誕生に関しては最初の数例では、新生児の体重まで公表されていたが、最終的には、日付、性別、母親の氏名、所内の住所の4項目が報道され、多くの場合誕生時刻を示されていた。死亡の場合には、前例に共通する情報は、死亡日、氏名、性別（氏名により判断可能となる）だけであり、多くの場合、死亡時刻と享年が示されていた。

表2 最初の1年間の死亡

Date	Time	Age	Male	Female	
42/10/09	17:15	61	1		heart attack
42/10/16	02:05	57		1	
42/10/25	19:47	45		1	
42/11/13	00:21	54	1		
42/11/20	04:50	68	1		
42/11/21	21:30	63	1		
42/11/22	17:00	55	1		
42/12/18	03:45	73	1		
42/12/29		52	1		
43/01/06	08:10	44		1	
43/01/18	21:15	49		1	
43/01/19	07:50	62	1		
43/01/30		72	1		
43/02/05	22:00	78	1		
43/03/01	14:10	55	1		
43/03/09			1		
43/03/12	17:50			1	
43/03/12	16:05		1		
43/03/19	14:45	62	1		
43/03/21	20:05			1	
43/04/07		20		1	in Salt Lake City
43/04/11	19:30	63	1		
43/04/17		73	1		
43/04/28		58	1		
43/04/30		54	1		
43/05/20	15:45	73	1		
43/06/24		22	1		pneumonia
43/06/27	20:40	0		1	baby girl
43/07/03	17:20	67	1		pneumonia
43/07/07		33	1		in Salt Lake City
43/08/10		63	1		
43/08/28		29		1	
43/08/30		70	1		
43/08/31		0	1		baby boy

表3 最初の1年間の誕生

Date	Time	Boys	Girls	Date	Time	Boys	Girls
42/09/22	06:40		1	43/04/27	12:34	1	
42/09/26	07:00		1	43/04/27	03:18	1	
42/09/29	20:30		1	43/04/28	12:46		1
42/10/05	11:40		1	43/05/01	17:40		1
42/10/14	07:35		1	43/05/06	06:09	1	
42/10/17	10:07		1	43/05/08	00:36		1
42/10/24	17:23	1		43/05/09	02:15		1
42/10/28	12:40		1	43/05/12	11:23		1
42/11/03	19:15		1	43/05/18	05:13		1
42/11/08	19:40		1	43/05/19	13:03	1	
42/11/15	14:19		1	43/05/25	22:34	1	
42/11/16	14:51	1		43/06/05	07:40		1
42/11/18	20:36	1		43/06/07	10:55		1
42/11/19	04:00		1	43/06/13	05:33	1	
42/11/20	05:20	1		43/06/13	07:50	1	
42/11/20	16:45		1	43/06/15	14:51	1	
42/11/23	04:09	1		43/06/17	00:25		1
42/11/28	05:30	1		43/06/20	10:55	1	
42/11/30	20:12	1		43/06/22	07:42		1
42/12/01	15:57		1	43/06/22	10:15	1	
42/12/02	16:25	1		43/06/26	13:42	1	
42/12/03	08:10	1		43/06/28	18:35		1
42/12/11	12:25	1		43/07/02	12:30	1	
42/12/18		1		43/07/04	20:05	1	
42/12/22	04:15	1		43/07/11	07:06	1	
42/12/22	13:15		1	43/07/15		1	
42/12/24	13:49		1	43/07/19		1	
42/12/25	21:45	1		43/07/21		1	
42/12/27	12:53		1	43/07/21			1
43/01/07	19:43		1	43/07/22			1
43/01/30	02:51	1		43/07/22			1
43/02/03	23:12	1		43/07/22			1
43/02/05	13:18		1	43/07/25			1
43/02/06	06:26	1		43/07/26			1
43/02/07	08:00	1		43/07/27			1
43/02/11	04:15	1		43/07/27		1	
43/02/11	04:15	1		43/08/01		1	
43/02/13	08:00		1	43/08/02		1	
43/02/17	15:52	1		43/08/03		1	
43/02/20		1		43/08/06		1	
43/02/24	10:43	1		43/08/13			1
43/02/25	06:45	1		43/08/14			1
43/03/04	18:06		1	43/08/15		1	
43/03/05	03:20	1		43/08/18		1	
43/03/13	06:19	1		43/08/21		1	
43/03/14	05:20		1	43/08/23		1	
43/03/14	17:50	1		43/08/23			1
43/03/15	01:45	1		43/08/24		1	
43/03/19	13:12	1		43/08/26		1	
43/03/19	15:50	1		43/08/29		1	
43/03/23	23:30	1		43/09/02			1
43/03/26	20:35	1		43/09/10		1	
43/03/31	19:14		1				
43/04/07	08:16	1					
43/04/08	10:45	1					
43/04/10	12:15		1				
43/04/12	21:07						
43/04/12	23:45		1				
43/04/25	05:44		1				
43/04/26	08:50		1				

誕生と死亡のデータを旬日毎に区切って、収容時期による誕生と死亡の変動傾向をみたのが図1、図2である。誕生についてみると、トパーズでの出産の期待値はほぼ3人/10日の割合であるが、収容時期によって出産が少ない時期と多い時期が存在していることが見て取れる。1942年の12月末から翌月の1月末までの期間には、出産数が目立って少なくなっている。受胎から出産までの40週間のずれを考慮すると、1942年3月から4月の期間には受胎数が減少していることになる。この時期はちょうど、トパーズの住民たちの多くがタンフォラン仮収容所に移送された時期にあっている。

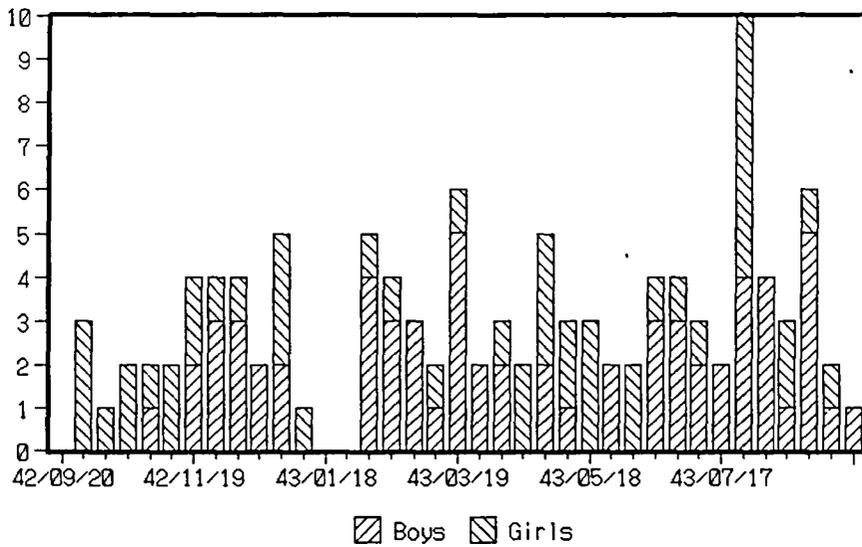


図1 トパーズ収容所での収容時期による出産数の変動

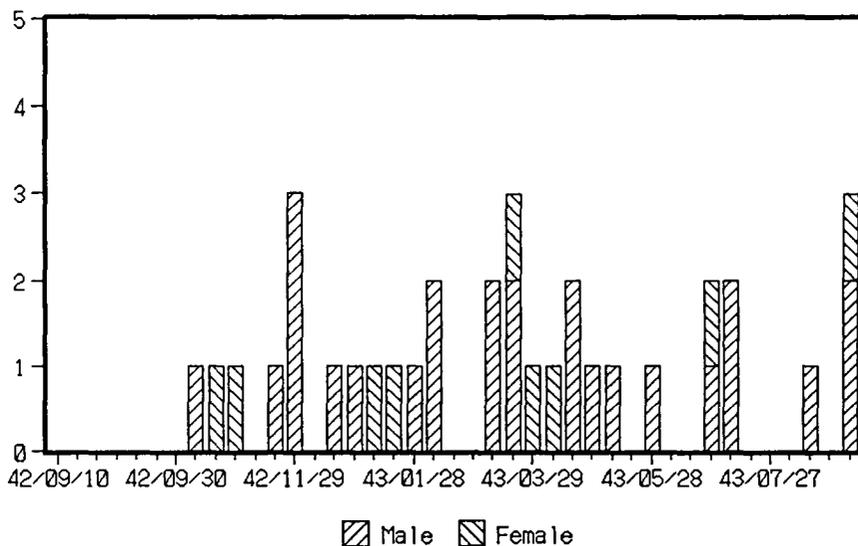


図2 トパーズ収容所での収容時期による死亡数の変動

逆に、1943年3月10-19日の6人、7月18-27日の10人、8月17-26日の6人と、とくに出産数が多い。40週間のずれを調整すると、受胎数の多い時期が、ある程度タンフォランでの生活が軌道にのり始めた1942年の6月ごろ、トパーズでの生活が軌道にのり始めた1942年の11月、12月ごろと対応していることは興味深い結果である。

トパーズの総人口が8,500名で非常に大きく、出産率は年間112/8,500、死亡は34/8,500と非常に少なく、個々の出産や死亡は独立の事象と考えられるので、トパーズでの出産や死亡はつぎのようなポワソン分布に従うと考えられる (Hays, 1973)。

$$p(x; m) = \frac{e^{-m} \cdot m^x}{x!}$$

ただし x は特定の出来事の出現回数、 m は期待値、 e^{-m} は定数

出産の場合には、 x は特定の出産数、 m は出産数の期待値 (約3人/10日)、 $e^{-m} = .04979$ をあてはめて計算すると、10日間で6人以上の出産がある確率は0.0838にすぎない、10日間で10人以上となる確率はわずかに0.001である。逆に一人も生まれない確率は0.04979となる。この結果をみると、1943年7月のトパーズはまれにみる出産ブームだったといえよう。いいかえれば、1942年11月はまだトパーズでの生活の混乱はつづいており、生活の不便さは解消はしていなかったが、若い人たちにとっては真珠湾攻撃以来の1年間の中で心理的に一番安定した時期であったことが伺えるのである。

おなじような分析を死亡の場合についても行ってみよう。トパーズでの死亡者の期待値は約0.9人/10日となるので、 $e^{-m} = 0.40657$ をあてはめて計算すると、三人以上の死亡者が出る確率は0.0628となる。つまり、1942年の11月20-29日、1943年3月10-19日、同じく8月27日~9月5日に死亡が集中していることがうかがえる。その原因となるような事柄を探してみると、1942年の11月や43年の3月の場合には寒さの影響、8月末は高温の影響といった、これまでのサンフランシスコ湾岸地域の温暖な気候条件とは異なる気象条件の影響が働いているとも考えることが可能である。

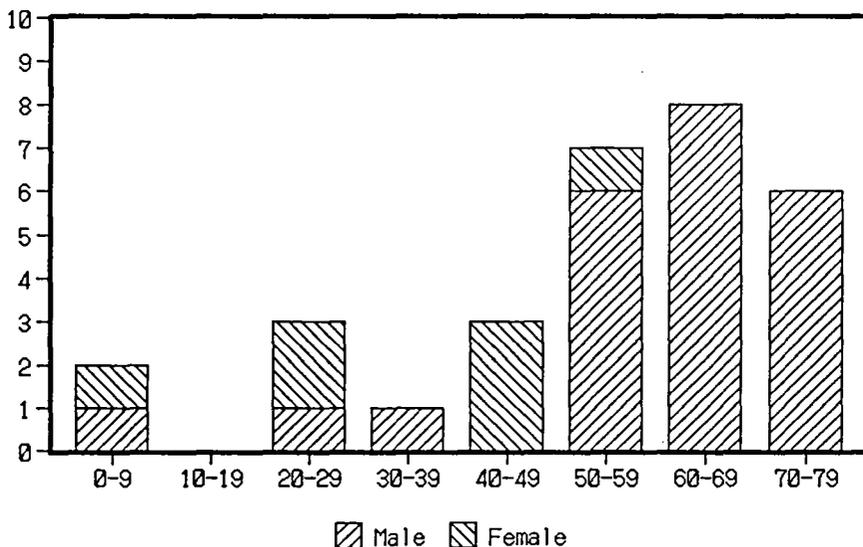


図3 年齢別にみた死亡者

DINA-MITE

By \$

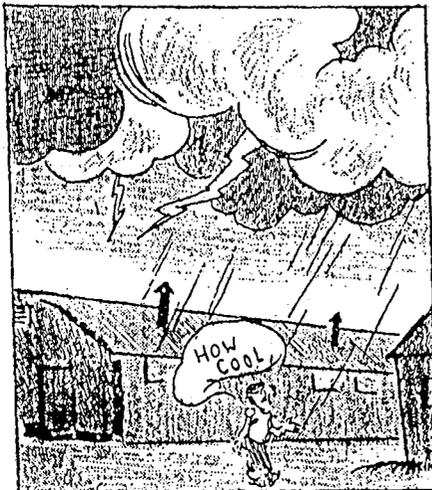
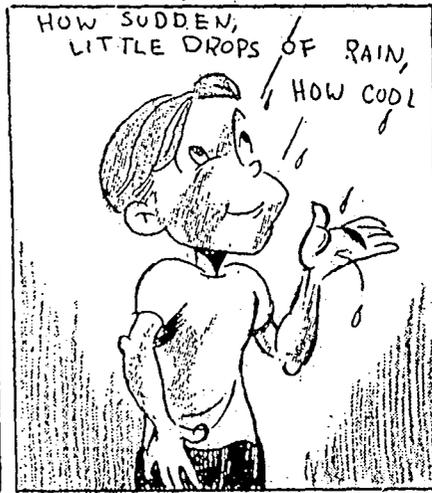
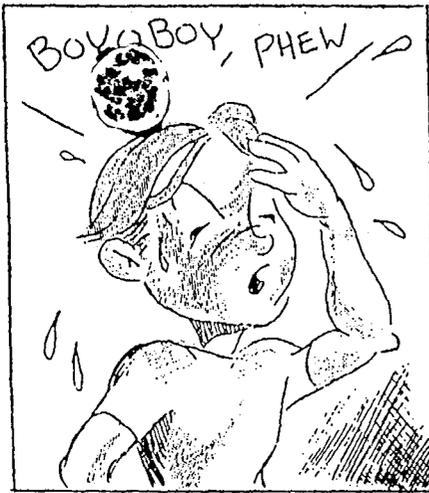
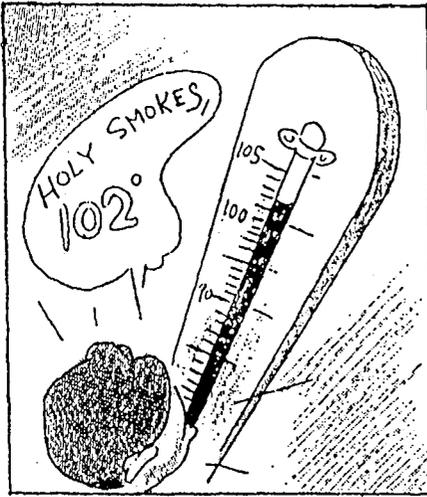


図4 ダイナマイト (1943年8月14日号)

死亡年齢が判明している例についてみると、図3のように高齢の男子の死亡が目立って多いことが明らかになる。しかし夏場に入ると若年層の死亡もめだつようになる。またこの時期に死亡した2例については、死因が肺炎であることがトパーズタイムズの別の記事で明記されている。高温と時折降るスコールによる寒暖の差によって、当時のトパーズの住民の間に風邪を引く人が多いことが、当時の漫画にも描かれている（図4参照）。

結 論

トパーズにおける最初の一年間の日系人の生活の一端を当時の所内新聞「トパーズタイムズ」の記事を基礎にして再構成してみた。この1年間の日系人の生活が決して平坦なものではなく、次から次へと外的な原因による事態の変化に翻弄され続けた姿が明らかになったといえよう。しかしそのような状況の中での、トパーズ収容所での生活が軌道にのっていくにつれ、ここに落ち着いたという安堵感を日系人たちが感じていった面もあったのではないかと推測できた。

引用文献

- Durkheim, E. 1951 *Suicide: A study in sociology*, Free Press: New York.
- Hays, W. L. 1973 *Statistics for the social sciences*, 2nd ed. Holt, Rinehart & Winston: New York.
- Myer, D. S. 1971 *Uprooted Americans*. U of Arizona Press, Tucson: Arizona.
- 日系人強制収容所新聞「トパーズ・タイムズ」第1巻 1990 日本図書センター
- 日系人強制収容所新聞「トパーズ・タイムズ」第2巻 1990 日本図書センター
- 日系人強制収容所新聞「トパーズ・タイムズ」第3巻 1990 日本図書センター
- 日系人強制収容所新聞「トパーズ・タイムズ」第4巻 1990 日本図書センター